



進路学習だより

令和5年
5月1日発行

宇都宮市立
瑞穂野中学校
キャリア教育部



5月 第2号

TEL 028-656-1586
FAX 028-657-7220



卒業後の進路選択&決定の主な日程

今年度の3年生の進路選択及び決定に関する、1月上旬までの主な日程を掲載します。詳細については分かり次第、お知らせします。

日程(予定)	項目	内容
		※ 主に「広域通信制の高等学校」や「専修学校・専門学校で高等課程を有する学校」で、学校説明会等を随時開催しています。情報は掲示物や個別相談等でお伝えします。Webや電話での申込以外に、中学校を通しての申込も可能です。
～6月上旬	一日体験学習の申込	県立・私立高などの一日体験学習
		※ ～5月中旬頃に県立・私立高等学校の「一日体験学習」の要項がそろいます。夏の県大会や関東大会、全国大会やその他の日程等を確認しながら、どの学校の体験学習に参加するかを決めていきます。
夏休み中	三者懇談	学校生活全般の話題及び進路の相談
主に夏休み中	一日体験学習	県立・私立高などの一日体験学習
		※ 夏休み期間に行われる一日体験学習や、土・日の学校説明会(主に「広域通信制の高等学校」や「専修学校・専門学校で高等課程を有する学校」が実施)に参加したり、パンフレットなどで情報を集めたりします。
9月29日(金)	私立高入試説明会	私立高への進学及び出願に関する説明
		※ 私立高入試説明会を受け、県立高までの入試を見通し、私立高の推薦や単願等を含め、私立高入試(一般入試第1回は年明けすぐ試験)の受験校を検討します。
10月31日(火) ～ 11月9日(木)	3年進路相談	受験計画全体の見通しを立て、私立高入試(推薦・第1回)の手続きを確認します。
		※ 進路相談での話し合いをもとに、必要な書類をそろえて中学校に提出します。インターネットでの出願手続きや受験料の払い込み(クレジットカード等)を行います。
11月17日(金)	県立高入試説明会	県立高入試(特色・一般)に関する説明
		※ 県立高入試説明会を受け、県立高の受験校を決定していくとともに、私立高入試(第1回)の結果によって第2回受験をどうするかなどについて確かめておきます。
1月9日(火) ～16日(火)	3年進路相談	私立第2回入試、県立(特色・一般)入試の手続きについて確認します。

3年主な行事

- 体育祭
5月20日(土)
- 修学旅行
5月27～29日(土～月)

総体地区大会

総体県大会
関東・全国大会

文化祭
10月28日(土)



なお、令和6(2024)年度栃木県立高等学校入学者選抜関係諸日程は以下の通りです。

項目	全日制課程		定時制課程		通信制課程
	特色選抜関係	一般選抜関係	フレックス特別選抜関係	一般選抜関係	
願書等提出期間	1/31-2/1 (水・木)	2/20-21 (火・水)	2/26-27 (月・火)	3/12-14 (火・木)	3/12-25(火～月) ※土日祝を除く
出願変更期間	—	2/26-27(月・火)	—	—	—
受検票交付期間	—	2/28-29(水・木)	2/28-29(水・木)	—	—
検査日	面接等 2/7-8(水・木)	学力検査 3/6(水)	特別選抜 3/6(水)	学力検査 3/18(月)	面接 3/20、26(水、火)
合格者内定	2/14(水)	—	—	—	—
合格者発表	3/12(火)	3/12(火)	3/12(火)	3/22(金)	3/27(水)

TOPICS 受験生をもつ親として……

- 生徒の皆さんの心の中には何が生まれているのでしょうか。受験期の子の心を支配してやるものは何でしょうか。受験が近づくほど次のような気持ちが大きくなるといえます。
 - ◇親は自分に何を期待しているか。→親の期待に応えられるかを気にする。(親の願いが子の重荷になってないか、……親子の会話を日常的に、確実に。)
 - ◇自分に何が向くかを探し、迷っている。→誰かに頼りたい気持ちが大きくなる。(迷いながらの進路選びです。放任してしまうと不安が増大します。)
 - ◇学習の抑圧と心の中で戦い続けている。→「勉強しなければ」と分かっている。(他のことをしていても集中できず、いらいらしていませんか。)
 - ◇友との比較を極端に意識している。→自分でもすぐに他と比較してしまう。(更に親から比較されてしまうことは、心の傷に針を刺すようなものです。)
 - ◇自分をもう一人の自分が監視している。→でも、すぐには改善に取り組みない。(こんな自分でもいいのか、選択は正しいか、と常に問い続けているのです。)
 - ◇早く決めてしまいたい気持ちに陥る。→進路選択がよい加減になりやすい(どこでもいいから、安心するために早く決めたいと「やけ」を起こすことも。)

- 受験生をもつ親として何が必要になってくるのでしょうか。親としてできることにはどんなことがあるのでしょうか。
 - ◇生徒が話しかけやすい雰囲気や家庭の中に用意しておきましょう。
 - ◆説教的な言い方は避けましょう。
 - ◆押しつけ的な言い方も避けましょう。
 - ◆否定せず、聞きながら教えていくような言い方を意識して行いましょう。例)「でも、○○」→「それなら、○○」
 - ◇受験の流れを知っておきましょう。
 - ◆いつまでに、何を、どう決めるのか、必要な経費は、手続きの方法は、など
 - ◇正確な情報を得る手段を持ちましょう。
 - ◆子が語らないことが多い「負」の話を、自ら知る手段を持っておきましょう。
 - ◆子への語りかけには、子の受け止め方を十分に配慮しましょう。
 - ◇望ましい生活のリズムを、一緒になって実践していきましょう。
 - ◆子に言う前に親が実行しましょう。
 - ◆特に「朝」の時間を大切にしましょう。
 - ◇生徒の健康管理をしっかり行いましょう。
 - ◆食事がしっかりとれる生活のスタイルを確立していきましょう。
 - ◆夜更かしや、間食の取り過ぎには十分に注意していきましょう。
 - ◆進路の見通しを家庭で共有し、精神的に健康でいられるようにしましょう。
 - ◇担任や学年の教師と十分に連絡を取っていきましょう。
 - ◆悩むよりも相談です。迷うことがあったら学校へご連絡ください。

火をつけるのは「尻」でなく、「ハート」。ともに手を携えて進んでいきましょう。

